別紙様式 1

令和4年度片山中学校区研究推進計画

<u>校番(12)(呉市立片山中)学校</u> 校長名 西原 有紀

- 1 学校教育目標 新たな創造への挑戦
- 2 目指す児童生徒像 基本的な知識や技能を身に付け、多様な意見を共有し、主体的に考え表現する児童生徒
- 3 育成を目指す資質・能力(具体の姿)

資質・能力	知識及び技能	思考力,判断力,表現力等	学びに向かう力,人間性等
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
後期			社会の生き方との関わりを考えながら、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしていている。
中期	社会の中で生きて働く基本的 な知識や技能を身に付けてい る。	決方法を考えるとともに, 学んだ ことを目的に沿って工夫して表	自らの学習状況を把握し,学習の進め方について試行錯誤するなど,自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。
前期			自らの学習状況を把握し、学習のめあてに向かって最後まで 粘り強く学ぼうとしている。

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的に学び、自らの思いを表現できる児童生徒の育成

(2) 設定理由(校区の児童生徒の課題分析等)

本中学校区では、令和元年度から呉市小中一貫教育研究指定校となり、目指す児童生徒像を「基本的な知識や技能を身に付け、多様な意見を共有し、主体的に考え表現する児童生徒」と設定して9年間を見通した課題解決学習に取り組み、昨年度は、「主体的に学び、自分の考えを表現できる児童生徒の育成~『学び合い』を充実させた授業づくりを通して~」という研究主題のもと、授業改善部会と地域協働部会の2部会による研究を重ね、その成果を「片山中学校区小中一貫教育研究会」にて報告した。

その成果として、令和3年度全国学力・学習状況調査では、正答率は、9年生国語科68.0%(全国平均64.6%)、数学科61.0%(全国平均57.2%)、6年生国語科74.0%(全国平均64.7%)、算数科76.0%(全国平均70.2%)といずれも全国平均を上回る結果を残すことができた。

一方,昨年度の課題は標準学力調査の結果から観点別正答率で知識・技能や主体的に学習に取り組む態度は全教科50%以上あるのに,思考・判断・表現が50%に達していな

い教科がある。授業においては、教師からの見取りで、集団解決の場で発言する児童・生徒に隔たりがある。このことは、令和3年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙において、「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」という質問に対して、当てはまると回答した生徒の割合は34.5%(県平均36.1%)と県平均を下回っていることからもわかる。また、配慮を要する児童生徒や不登校児童への手立ての必要性が増してきている。

これらのことから、本中学校区の児童生徒の課題は「自ら思いを表現すること」と考え、新年度は育成すべき資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」とし、「授業研究部会」、「心と体部会」の2部会で取り組みを進めていく。

手立ては次の2点である。1つ目は、昨年度まで取り組んできた、「学び合い」、「学び合いの種」を継続して進め、さらにICTを効果的に取り入れることである。新たに加わった教職員も含め、全教職員が本中学校区で設定した「学び合い」、「学び合いの種」について共通理解をし、そこにICTを効果的に活用することで、資質・能力の育成をしていく。2つ目は、今年度から新たに「心と体部会」を立ち上げ、授業改善部会とともに2部会を機能させ、研究を充実させることである。心と体部会では自尊感情を異学年交流を通して育成し、自分に自信をもち、表現できる児童生徒を育てていく。

(3) 研究仮説

9年間を見通し、育成したい資質・能力を意識して、学び合う学習の場を効果的に設定すると、主体的に学び自らの考えを表現する児童生徒が育つ。

5 研究内容

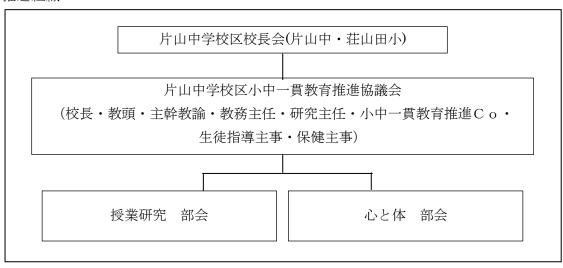
- (1) 授業研究部会
 - ①授業改善
 - ・思考を深める学び合いの場を工夫した場づくり
 - ICTの効果的な活用
 - ・帯タイム (基礎・基本) の計画
 - ②総合的な学習の時間の充実
 - ・カリキュラムマップの改善(地域・生き方の改善)
 - ③読書活動の充実
 - ・読書タイム (朝読書) や家庭での読書の推進
 - 絵本会
 - ④家庭学習·自主学習
 - ⑤作品応募 (積極的な成果の発表)
 - ・新聞,絵,ポスター,習字,感想文等
- (2) 心と体部会
 - ①自尊感情の育成
 - ・異学年交流(清掃,読み聞かせ等)
 - ②「いじめ撲滅」に係る主体的な取組
 - ③不登校児童生徒への対応
 - ④基本的生活習慣の定着
 - ⑤体力,運動能力の向上
 - ・体力つくりの推進
 - ⑥防災教育の充実
 - 防災訓練
 - ・総合的な学習の時間での防災学習

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 「主体的に 学び,自ら表 学える」 で う さ う く か き く か き く が き く が う き く り が り う り う く う く う く う く う く う く う く う く う	・授業参観シート	・研究授業における教職員の相互評価値の平均(4段階評価)	_	+3.2以上
	·全国学力· 学習状況調査	・全国平均との差	·6年国+9.3 9年国+3.4 6年算+5.8 9年数+3.8 (昨年度)	• 6年国+2.0 9年国+2.0 6年算+2.0 9年数+2.0
② 学力が向上 したか	・全国学力・ 学習状況調査 質問紙	・全国の自分の との を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・6年 +2.2 9年 +4.4 (昨年度)	· 6年 + 2. 0 9年 + 2. 0
	·標準学力調 查	・全国平均との差	・5年国-4.7 第-4.6 8年国社数理英 の合計の平均 +1.5	・6年国+2.0 第+2.0 9年国社数理英 の合計平均 +2.0

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等 (中→小) ・小学校第6学年 教科は調整中

8 推進計画

п	内容					
月	片山中	荘山田小	中担当	小担当		
4月	幹事会①		要田	髙下		
5月	総会·部会別研修会①	幹事会②	要田	髙下		
0月	推進計画の確認、担当者打ち合わせ					
5月	小中共通アンケート実施①		要田	髙下		
5月	小学校計画委員会と中学	学校生徒会による小中合	生指			
9月	同会議・・・清掃活動,挨打		(生徒会)			
5月	幹事会③		要田	髙下		
6月	植栽活動(郷町公園のひまわりの苗植え)		生指(代議)	栽培		
6月~	ひまわりの世話			栽培		
6月	全体研修会① 幹事会④		要田	髙下		
6月	小中共通アンケート実施	2	要田	髙下		
	全体研修会② 部会別研	修会②	要田	髙下		
8月	指導講話					
	幹事会⑤(1学期の反省・	全体研修会③に向けて)				
9月	全体研修会③ 部会別研修会③ 幹事会⑥		要田	髙下		
9月	小中共通アンケート実施③		要田	髙下		
		陸上教室	体育科			
		事前に小学校で課題を				
10月		もたせる授業を行うな				
		ど小学校側がポイント				
		を絞って依頼する。				
11月	総合防災訓練		生指			
12月	小中合同地域清掃活動		7学年			
1月	部会別研修会④ 幹事会⑦(まとめに向けて)		要田	髙下		
1月	オープンスクール		要田			
2月	絵本会(7年生→1年生)		7学年	1学年		
3月	全体研修会④ 部会別研修会⑤ 幹事会⑧		要田	髙下		
	(研究のまとめ 来年度に向けて)					
3月	幹事会⑨(来年度に向けて)		要田	髙下		

9 その他

・植栽活動<6月>

陸上教室<10月>

· 合同防災訓練<111月>

清掃活動<12月>

オープンスクール<1月>

絵本会<2月>

• 挨拶運動

・小中一貫だより

公園にひまわりの苗植えを小中合同で実施

中学校教諭による小学生への実技指導

小学校と中学校が合同で行う防災訓練

校内、地域の清掃活動を小中合同で実施

8年生による6年生への説明と部活体験

7年生による1年生への絵本の読み聞かせ

計画委員会と生徒会を中心とした校門前での挨拶

家庭向け年2回, 教職員向け随時発行

※ 研究構想図、カリキュラムマップを添付する。